

令和6年度グループホーム事業計画書

(グループホーム青葉町日和)

- 1 利用定員 9名
- 2 職員定数 管理者1名 計画作成担当者 1名 介護職 4名
計 6名
- 3 事業運営基本計画
 - ご利用者とともに**
ご利用者のニーズを優先し、社会福祉事業に多角的に取り組み、法令順守でサービスを提供します。
 - スタッフとともに**
デイサービスや小規模多機能型居宅介護との連携を取りながら、スタッフのスキルアップも行い、チームとしての、和を大切にしながら同時に個人の個性が発揮できる、働き甲斐のある職場環境を作ります。
 - 地域とともに**
運営推進会議を通じて、地域の意見を反映し、地域に根ざした運営を行います。また、積極的に地域行事等へ参加し、地域の一員として共に生活していきます。
- 4 利用者の処遇 社会的意義と責任を深く認識し、サービスの向上に取り組み、ご利用者に対して、その権利を尊重し、礼節と尊敬を持って支援いたします。また、自立支援の観点から介護予防にも積極的に取り組みます。
- 5 健康管理 ご利用者の健康面を把握し、自立性・個別性のある介護計画のもと支援します。
緊急に養護が必要になった際は、看護職・協力医療機関と連携し、ご利用者を支援します。

- 6 防災計画 市区町村及び消防当局の指導に基づき防火管理者を選任し、定期的な防災訓練を実施します。また、地域と連携し防災に努めていきます。

7 日課

| グループホーム青葉町日和（一般例） | |
|-------------------|----------------------------------|
| 6：00 | 起床 |
| 8：00 | 朝食 服薬 歯磨き |
| 9：00 | くつろぎ 日常生活動作訓練 個別活動 |
| 12：00 | 昼食 午睡、休息 |
| 14：00 | レクリエーション（集団）機能訓練（個別） 機能訓練（個別） |
| 15：00 | おやつ 談話 交流 |
| 16：00 | 入浴 |
| 18：00 | 夕食 |
| 21：00 | 就寝 |

8 新年度における具体的取組（令和5年度経営状況より）

イ、 運営管理及び職員管理

- ・ 管理者、計画作成担当者は、「自立支援」を基本としたサービスを心掛け、ホーム内での生活を支援していきます。
- ・ 介護技術、チームワーク、資質向上のため、研修参加等を行います。
- ・ 職場定着及び職員育成に努めます（面談・研修・風通しの良い職場等）
- ・ 定期的な業務点検等を行い、改善に努めます。
- ・ 運営推進会議にて地域連携、情報共有を深め適切な運営につなげます。
- ・ ハラスメント対策を行い環境整備に努めます。

ロ、 医療連携 感染症対策 身体拘束廃止 虐待防止に向けて

- ・ 協力医、訪問看護ステーションと連携を行い状態把握に努めます。
- ・ 感染症流行期は面会制限、外出制限を行い安全確保に努めます
- ・ 定期的な研修及び、発生時の想定訓練を行い体制の構築に努めます。
- ・ 身体拘束に関しては①切迫性②非代替性③一時性を厳密に検討し、定期的な委員会で協議を行い、身体拘束ゼロを目指します。
- ・ 虐待防止、権利擁護の理解を深め高齢者の尊厳を守ります。

ハ、 経営管理（令和5年度経営状況より）

| | |
|--------|--------|
| 平均登録者数 | 8名／9名 |
| 利用中止者 | 4名 |
| 新規受入 | 3名 |
| 平均介護度 | 要介護3 |
| 利用者単価 | 42万／1人 |
| 売上平均 | 340万／月 |

- ・ 居宅支援事業所、地域包括支援センター、医療相談室等を定期的に訪問し、空き情報の提供とご利用者確保に努めます。
- ・ 空床期間は2週間を目途に安定経営を目指します。
- ・ 必要な加算取得を目指し体制整備を行います。
- ・ 予実管理を行い増収増益を目指します。

ヘ、 業務効率化

- ・ 業務効率化委員会を設置。今後は効率化も部門全体で共有、改善につなげます。

ホ、 各種委員会の運営

- ・ 虐待防止委員会、感染症対策委員会、事故防止委員会を定期的に開催し、適切な事業運営に努めます。